

コロンビア大学日本同窓会史
25周年記念号

A History of
the Columbia University Alumni Association of Japan
Editorial for the 25th Anniversary



コロンビア大学日本同窓会

THE COLUMBIA UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION OF JAPAN

コロンビア大学との接点

星野 靖雄

(East Asian Institute 1981-82)

筆者のコロンビア大学との接点は、1981年秋にフルブライト招聘講師としてラトガース大学経営大学院（ニューアークキャンパス）へ1年間出張した時を契機とする。講義のために必要な英語・日本語の文献を集めるためラトガース大学のみならずアジア図書館をもつ近辺のコロンビア大学が有用であり、そのためにコロンビア大学経営大学院に付属している East Asian Institute 客員研究員としてポストを得たのである。その出あいは、ラトガース大学で経済セミナーがあり、そこでフルブライトプログラムの先輩であった佐藤和夫ニューヨーク州立大学バッファロー校教授の知遇を得、コロンビア大学の James Nakamura 教授と知り合いになったことによる。コロンビア大学では、Nakamura 教授、ハーバード大学の Henry Rosovsky 教授、ジョージワシントン大学では Eleanor Hadley 教授、それにイエール大学では Hugh Patrick 教授らが中心となり日本経済セミナーを年に何回か持ち回りで開催していた。コロンビア大学で客員准教授として講義をされていたジョンズ・ホプキンス大学の八田達夫准教授ともここでお目にかかり、お互いの家庭訪問をし食事をしたが、妻同士が中学校の同級生であったことには驚いた。

第2回目にコロンビア大学にお世話になったのは、1996年、3ヶ月程の海外出張でニューヨーク市立大学バルーク校で研究室付きの研究員のときである。この場合にも、コロンビア大学に客員研究員をお願いした。その時には Hugh Patrick 教授がイエール大学よりコロンビア大学に移り日本経済経営研究所の所長であった。コロンビア大学へ出入りしたことが、ニューヨーク大学を訪問し日米経営経済研究センターの佐藤隆三教授ともお会いすることができ、当時、佐藤隆三教授が編集長をされていた学術誌“Japan and the World Economy”に、これまで3編論文を掲載する契機となった。

(愛知大学・筑波大学)